

地域特性を活用したイタリアンライグラス新品種の育成・利用法の検討

ー早生系イタリアンライグラス「友系 31 号」は TDN 含量が高いー

[背景と目的]

現在まで乳牛の餌に用いるイタリアンライグラスの育種は主に乾物収量（反収）に主眼がおかれています。乳牛の高能力化に伴い、良質な粗飼料が求められています。そこで、消化性を加味した TDN（可消化養分総量）収量の高い形質を付与することを育種目標として選抜し、高 TDN 系統「友系 31 号」を育成しました。

[主な成果]

(1) 栽培特性

- ・ 出穂始日は「はたあおば」と同程度、「タチワセ」より 1 日遅い早生 2 倍体系統です。
- ・ 耐倒伏性は「はたあおば」より弱く、「タチワセ」より強いです。乾物率は「はたあおば」より高く、「タチワセ」と同程度です（表 1）。
- ・ 1 番草乾物収量は「はたあおば」と同程度で「タチワセ」より低く、合計収量は「はたあおば」より高く「タチワセ」と同程度です（表 1）。

(2) 成分特性

- ・ 推定 TDN は「はたあおば」及び「タチワセ」より高含量です（図 2）。
- ・ 粗蛋白質含量は「はたあおば」及び「タチワセ」と差がありません。可溶性炭水化物は「はたあおば」及び「タチワセ」より高含量です（表 1）。

[期待される効果]

イタリアンライグラスを従来から栽培してきた生産者が本品種を利用することで、TDN 収量の向上が期待されます。

栽培の際は、他のイタリアンライグラス早生品種に準じ、いもち病による被害を防ぐため早播（9 月播種）は避けたほうが良いでしょう。

現在、普及のための現地実証試験中です。



図 1 友系 31 号の草姿

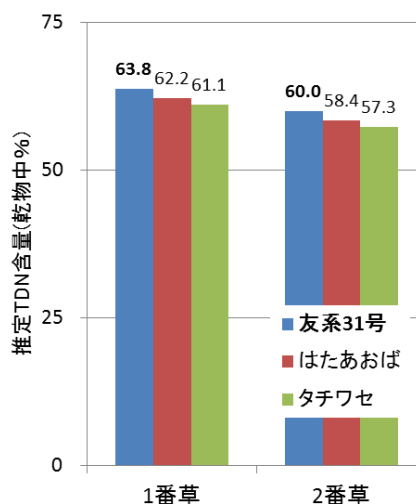


図 2 推定 TDN 含量

表 1 友系31号の特性

		友系31号	はたあおば (標準)	タチワセ (比較)
出穂始日		4/25	4/25	4/24
推定TDN含量	%	63.8	62.2	61.1
乾物収量(1番草)	kg/a	79.4 (99)	80.3 (100)	82.4 (103)
乾物収量(合計)	kg/a	111.5 (103)	108.4 (100)	111.4 (103)
倒伏程度(1番草)		2.6	1.9	3.5
乾物率(1番草)	%	19.8	18.8	19.7
草丈(1番草)	cm	105	105	106
冠さび病検定	%	弱	やや弱	極弱
採種量	kg/a	16.9	18.3	15.6
粗蛋白質含量	%	7.3	7.0	7.4
可溶性炭水化物含量	%	25.4	20.7	20.3